



- ・3年生になると、上級生と練習を行います。「小袖漁撈唄」は、保存会の皆様のご指導により、海女フェスティバルなどで披露されます。「小袖ソーラン」は、運動会、くじみなとまつり、海女フェスティバルなどで披露されます。
- ・今年度、中学年で「小袖八景を探そう」という単元開発を行いました。「小袖八景絵葉書」発行して海女センターに寄付しました。地元の新聞などで賞賛されました。

(4) 高学年の取組み ふるさと「小袖の海」の復興状況を学び、発展の担い手になる。

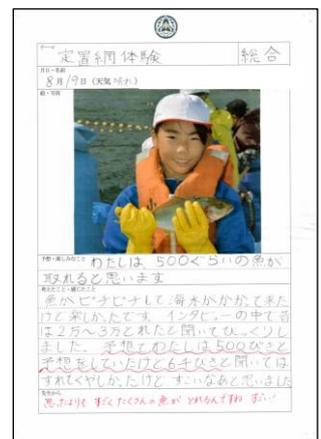
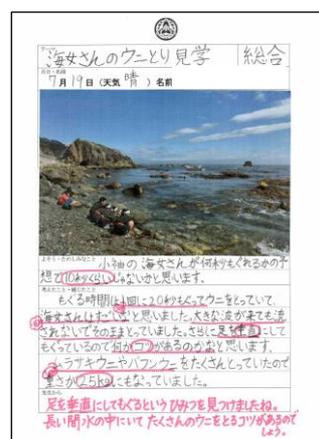
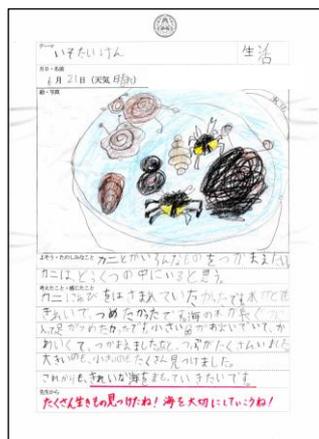
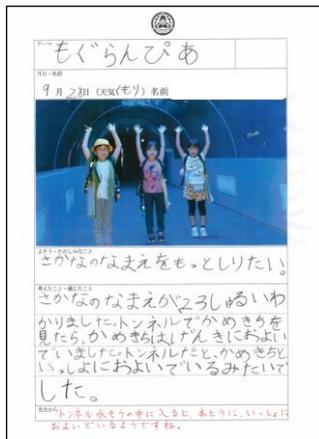


- ・今年度、同じ中学校区の久慈市立久喜小学校6年生と合同で防災教室を実施しました。久喜浜の防潮堤建設現場の見学、野田村の仮設住宅や新しい町づくりの見学、本校学区の海女センターなどの大震災被害について学習を深めることができました。
- ・小袖定置網組合の皆様のご支援により定置網体験や新巻づくり体験を行いました。小袖の海の豊かさを体感することができました。

## 8. 実施成果

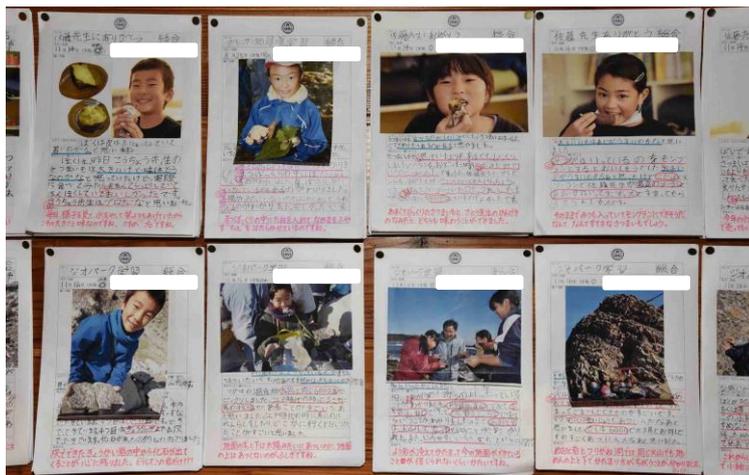
### (1) 目的の達成状況

- ・「思考力の育成」という視点で、児童の思考力の向上に資することができました。課題は、更に意図的な単元の実践を増やし、思考力を育成する機会を増やすことです。
- ・生活科や総合的な学習の時間だけでなく、教科との関わりにおいても、思考力を鍛える機会を積極的に行いたいと考えています。



## (2) 実施成果

- ・右図は、3・4年複式学級の子どもたちの「具体の思考力」です。用紙に実践前の予想と実践後の感想が記録され教師の評価が記載されています。
- ・本用紙の蓄積こそが、児童の「具体の思考力」の伸びを確かなものにしてくれました。非常に簡単で、とても分かりやすいものでした。



## (3) 児童の知識・技能習得や意識変容

- ・児童が「ふるさと小袖」に対する認識を深めたことです。家族に「ふるさと小袖」の思い出や心に残る風景を聞いて探検した「小袖八景を探そう」の単元での実践では、子どもたちの「ふるさと小袖」のよさをたくさん発見することができました。
- ・「海をテーマとした表現活動」に関わる「小袖漁撈唄」や「小袖ソーラン」の伝承活動について、子どもたちは、自分たちが行っていることの価値を知ることができました。

## (4) 改善点

- ・単元を実施する際に行った地域の方々や小袖生産部や小袖定置網組合との連絡調整の記録を取っておいて、より価値のある単元開発を行っていくことです。
- ・本校は、僻地1級地にある複式学級を有する小規模校です。教職員も少なく、それぞれの学級の実践を交流するなど、意図的な授業力向上の手立てを組む必要があると考えています。

## (5) 今後の見通し

- ・今年度は、笹川平和財団のご支援をいただいて、「ふるさと小袖」の海洋教育に視点をあてた実践を意図的に行うことができました。来年度、本校は1学級減となり、完全複式の3学級となります。2学年が1つの学級となるので、単元によっては2年間に1度実施するなど、指導計画を明確にして実践していく必要があると考えています。
- ・今年度実施した海洋教育は、間もなく公表される新学習指導要領においても大切にされる内容であり、その価値を共通理解しながら校内研究の中でも実施していきたいと考えています。

## (6) 課題・反省点

- ・保護者や地域の方々に成果物として、今回の研究の内容を周知することができました。しかし、これを毎年行うことは不可能であり、校報などを通じて保護者や地域への情報提供や啓発活動を進めて行く必要を感じています。
- ・大きな反省点は、ありません。本校の学区の状況は、海洋教育を推進する必要十分条件がそろっている極めて恵まれた状況にあったと言えます。今回の研究において得た内容を継続させる必要性を強く感じています。

9. 成果物

	名 称	部 数
1	「小袖八景絵葉書」	6 種類×1,600 セット=9,600 枚
2	海洋教育実践集	A 4 版 (横 20 ページ) 500 部

上記の 1 及び 2 をそれぞれ 1 部ずつ添付いたします。